

世界宣教日曜

スポットライトーエボラ熱流行

西アフリカで2013年12月に発症したエボラ熱の流行は歴史上最も大きく、致命的です。今回のエボラ熱は世界で初めて大流行と分類されました。10月中旬の段階でエボラ熱似よる死者は4,555人におよび、最も発症の多かった3つの国はギニア、シエラレネオ、リベリアです。不幸にも公認されている治療はなく、重病者は集中的な治療のみでのケアしかありません。

2010年のケープタウン決意表明に参加したマシュー・ブリマはシエラレネオでの状況をこのように伝えました。「全土のすべての部分が影響を受けています。プロジェクトは中断され、商社は閉まり、マーケットセンターは客足がなく、多くの村は壊滅される様子が見られます。同僚や教会員を亡くした牧師から話を聞きます。村全体の家族が死んでしまった村を尋ねました。いつ学校が再開されるかわかりません。22もの死体が道に捨てられていました。これがシエラレネオの状況であるとしたら、最もひどかったリベリアはどのような状況であるか思い浮かべてみてください。」

祈り課題

1. **西アフリカ**—最も流行がひどかった3つの国、リベリア、シエラレネオ、ギニアのためにお祈りください。
2. **影響を受けた地域**—隔離された家族、母乳が必要な赤ちゃんのためにお祈りください。孤児たち、未亡人のためにお祈りください。喪に服している人々、亡くなった家族のその後の手当てをせざるおえない人々のためにお祈りください。
3. **正真正銘のケアとサポート**—個人的、国内、海外からの援助のためにお祈りください。世界教会がキリストの愛を寛大さによる献金と親切さを通して衰れみとともに示せるようお祈りください。クリスチャンが祈るために、エボラ熱で苦しんでいる人々のために神様が伝染を止めるようにお祈りください。
4. **福音主義リーダーとミニストリー**—マシュー・ブリマ(IFESシエラレネオ)、モーゼ・クーパー(IEFSリベリア)、カップデイ・タッカー(聖書同盟、シエラレネオン)のようなリーダーたち、彼らが影響を受けている人々遺族へのケアと慰めをもたらすためにリードしていく彼らのためにお祈りください
5. **医療従事者、専門家**—保健局、関係機関、NGOのためにお祈りください。医療専門家、研究者、政策担当者たちがエボラ熱の国内、国外感染阻止に従事するにあたり知恵があたえられるようお祈りください。
6. **永遠の救い**—人間のもろさと死と戦うなか、エボラ熱で影響を受けている地域の人々だけでなく、全世界の人々が永遠の救いのために神へと向けるようお祈りください。

